

ぼうさい みくまじろ



No.4

H30.9.4 発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

津波が発生した時のために・・・

ライフジャケット着用訓練をしました!

紀伊半島沖の南海トラフを震源とする地震が発生した場合、本校校区がある各市町村では、津波被害が想定されています。そのため、串本町など、海岸線を走る国道42号線を走行経路としている本校スクールバス運行時の対応が懸案となっているところです。昨年度、和歌山県教育委員会から「ライフジャケット」をいただきました。今年度初めから、海沿いを運行する串本コースと新宮・勝浦コースの車内に常備しています。そして、夏休み中の登校日、プール水泳の時間を活用して「ライフジャケット」着用訓練を行いました。



感想

ライフジャケットを初めて着用して、前後や紐の留め方がわからなかったりしました。また救助のための笛も付いているのですが、周囲の人に気づいてもらえるために、大きく鳴らすには案外コツがあるなど、着用してはじめて気づくことが多かったです。常備するだけでなく、実際にやってみることの必要性を感じるよい機会となりました。



スクールバス介助職員と共に

○スクールバス通学時の図上訓練

8月24日(金)に介助職員さんと共に本校総務部、管理職が、地震発生時に被害が大きいと想定される串本コースにて津波が発生した時に何ができるかについて図上訓練を行いました。その中で話し合われた内容は以下のとおりです。

- 高等部の生徒と小学部の児童等とペアリングをして、一緒に逃げる訓練を行う。
- 集団での避難はより危険を伴うため、率先避難組と要支援組を分けての避難を行う。

課題としては、津波がすぐにくる場合は、ライフジャケットを着用する時間があるか、またかなりパニックが想定される状況で、スムーズな避難ができるかどうかについて不安な意見も出されましたが、できることを訓練しておくことの必要性も改めて感じた話し合いでした。



スクールバス 串本コース

津波対策 避難経路確認

8月27日(月)午前、昨年度に引き続き、串本コースの地震発生時における避難場所を確認しました。今年度はチェック箇所を増やして、串本町内の主要な避難場所を歩いて確認しました。串本コースは海に面しており、実際に現地を確認することで、適切な避難行動に繋がっていくものと考えています。



○確認した場所

- 馬坂園地
- 元串本 NTT 周辺
- 串本 橋杭岩周辺
- 串本町西向周辺
- 旧古座川病院
- 堂道周辺

